科目名	老年看護学方法論Ⅱ	対象学年・時期	２年・後期
講師	非常勤講師及び専任教員	単位数・時間数	１単位・３０時間
講義概要	ディプロマポリシー３に基づく。老年看護学方法論Ⅱでは、老年期に生じる代表的な疾患を取り上げていく。病態の理解と加齢による変化を踏まえた、老年期に特徴的な健康問題を取り上げる。健康問題が暮らしに及ぼす影響や、対象にとってのＱＯＬ等、老年看護の基本的な視点を学び、看護を実践する能力が育まれることを期待する。老年期の対象において、加齢がもたらす身体的・心理的・社会的変化は、対象となる高齢者の人生、暮らしに影響を及ぼす。対象はその変化に適応しながら自律したその人らしい暮らしを送っている。暮らしに影響を及ぼす「加齢」の実態とその影響、その人らしい暮らしを送るために必要な支援の視点を、この科目では学んでいく。		
講義形態	講義　演習		
学習目標	１．老年期に特有な疾患と病態生理を理解し、健康問題に対する看護がわかる。 ２．治療をうける高齢者への看護がわかる。		
学習内容 (授業計画)	１回目　高齢者の疾病の特徴 ２回目～４回目　認知症の理解と看護 ５回目～７回目　高齢者の運動器疾患の特徴　骨粗鬆症　・骨折・変形性関節症 ８回目～９回目　パーキンソン病の理解と看護 １０回目　誤嚥性肺炎の理解と看護 １１回目　慢性閉塞性肺疾患の理解と看護 １２回目　心不全の理解と看護 １３回目　前立腺肥大の理解と看護 １４回目　複数疾患を有する高齢者の特徴		
使用テキスト	老年看護学　①高齢者の健康と障害　②高齢者看護の実践　（メディカ出版）		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	各疾患の理解においては、病態関連図を作成しておく。また老年看護学方法論Ⅰの主症状の学習内容を整理しておく。 その他、講義中に適宜指示する。		
評価基準と 評価方法	終講試験１００％（専任教員５０％　外部講師５０％）		
備考			